

4) ボランティアに対するアンケートから

動物救護ボランティアの現場から ボランティアのアンケートをまとめて

南小岩ペットクリニック 獣医師 杉本 恵子
(社)日本動物福祉協会 獣医師 山口 千津子
一般ボランティア(名古屋市) 山田 誠

阪神・淡路大震災は、地震国と言われそれなりの対策が考えられていたにもかかわらず、大きな被害をもたらしました。この大震災は、日本という国が一瞬のうちに崩れ落ちてしまう近代都市とそれに対応できない社会組織しか持っていないことをしっかりと教えてくれました。それらに比べると、今まで日本には定着しないと思われていたボランティアの活動は大きく評価され、ボランティア元年という言葉さえ生まれました。人と同じように動物に対する救護活動もボランティアを中心に活発に行われ、多くの動物たちが救われました。動物の救護活動は震災発生と同時に、被災地域の中で被災者自身の手で行われたようですが、その日のうちに近隣の地域からもボランティアが被災地に入りました。あれほどの大震災で、情報も交通も遮断されていたにもかかわらず、次の日には小さなボランティア組織が活動を開始しています。それよりも今回の救護活動で特筆すべきなのは、動物にかかわる諸団体が行政と連絡を取りながら、今までにないボランティアの救護組織を作りあげたことです。初めての試みで手探りの中での出発でしたが、総合的には評価できるボランティア組織と活動だったと思います。救護活動は未だ終わっていませんが、今回のシンポジウムを機会に救護センターでのボランティア活動を振り返り、今後の活動の参考にしたいと思います。

動物救護センターは神戸市、三田市の2カ所に設けられ、現在も活動を続けています。最終的にはかなりの数のボランティアの参加になると思いますが、今回は開設から3カ月たった4月末までの住所の分かっている約1,100名のボランティアに、アンケートを通して感想、意見を求めました。ボランティアに参加した人々は、若い人が中心ですが、参加した動機も職業も動物との触れ合いの密度もかなり違います。また参加した時期や長さによっても印象は随分違うようです。どこまでまとめられるかは分かりませんが、参加された方々の意見、感想をできるだけ損なわないように報告したいと思います。

実施方法

動物救護センター(神戸および三田)開設初期から4月末までにボランティアとして参加し住所の分かっている全てのボランティア1,100名に、7月中旬アンケートを発送し8月5日までに回答を回収しました。

回収した回答は437でした。

アンケートの集計・分析は9月末現在分析中で、全てを報告する事はできませんが、今までにまとまった範囲で紹介したいと思います。

最後に

5枚ものアンケートにご回答ありがとうございました。この結果は今後作られる震災のためのマニュアルに生かされることと思います。また、アンケート作成にご指導いただきました神戸動物救護センターの佐々井先生、動物救援本部の方々、ヒトと動物の関係学会の方々、日本獣医師会に深謝いたします。

ボランティア参加の皆様へアンケートのお願い

兵庫県南部地震動物救援活動にご参加いただきありがとうございました。

火山列島である日本は、地震・噴火による災害が、決して少なくはなく、ここ10年来の利尻・青森の地震、大島・雲仙の噴火に代表される災害は、記憶に新しいことと思います。

その中で、1月17日に阪神地区を襲った直下型の地震は、地域のみならず、都市型としての大きな被害を与えた災害でありました。また、この災害は、被害の大きさだけでなく、日本中を駆けぬけ、世界にまで情報・活動のネットワークを揺り動かしました。そして、何よりも大きなことは、私たち個人レベルの意識の眼を開かせたことであります。被災地における様々な分野に、細かい砂粒のように、ボランティアの個々人や組織が入り、黙々と動き始めた現実があります。

今、やっと立ち上がった日本の中のボランティアの芽が、人々の生活を、心を、守り慈しむ大きな森となってゆくことを願っています。

ボランティアに参加下さっている方々、それを支援して下さっている方々に、同胞としての厚い友情を寄せるとともに、アンケートを通じ、この災害が我々に学ばせてくれたことの意味を深く受けとめ、更なる可動力となるボランティア活動の育成に、また、動物救護活動のマニュアル作成の礎として、役立てていって頂きたいと願うものであります。

尚、ご多用中の折りとはいえませんが、別添のアンケートによりしくご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

アンケート依頼責任者／動物救護本部

[後援] (社)兵庫県獣医師会 (社)神戸市獣医師会
(社)日本獣医師会 (社)日本動物福祉協会
(財)日本動物愛護協会
ボランティア(動物関係者対象)受付相談窓口

アンケート返送締切／8月5日(土)郵送にて必着
返送先／〒133 東京都江戸川区南小岩6-15-28
ボランティア(動物関係者対象)受付相談窓口
担当／杉本 宛
TEL(03)5668-0679TEL/FAX